

【音楽科】

各学年共通

- ◎読み解く力〈6つの領域〉について、意識した授業を行う。
- ◎教科書分析を行い、言葉にこだわり、「読むこと・書くこと・話すこと」の時間を重視する。
- ◎必然性のある内容を工夫し、家庭学習との連携を図る。

1年

■児童の状況	○楽しんで音楽活動に取り組む児童が多い。
■指導についての課題	・音楽の諸要素である共通事項の意味を正しくとらえさせるとともに、それを手がかりにして聴き取ったり表現したりできるようにする。 ・個人の範囲内で学びが完結してしまわないよう、音楽や言葉で伝え合う活動を取り入れる必要がある。
■授業改善に向けての具体的な方策	・手拍子やさまざまな体の動きを取り入れた表現活動を取り入れる。 ・常時活動に復習や共通事項を意識させる活動を取り入れる。 ・対話的な学びの場面では、活動形態を工夫するとともに、教師が児童の気付きや学びを全体に広げていくことができるよう助言しながら取り組ませる。

2年

■児童の状況	○楽しんで音楽活動に取り組む児童が多い。 ●既習事項を活用し、学びを探究していく場面では、何をしてもよいか分からず集中できない児童がいる。 ●ペアでの学習活動には慣れてきたが、一方的な伝え方で終わってしまうことがある。友達の意見や発表から自分の学びを広げる場面が苦手である。
■指導についての課題	・音の高さ、音の強弱の表現が混同してしまう児童が多い。正しい言語表現を習得させる必要がある。 ・音楽や言葉で伝え合う活動では、友達の意見と自分の意見と比べたり、意見を合わせたりするようにして、児童の学びを広げていきたい。
■授業改善に向けての具体的な方策	・手拍子やさまざまな体の動きを取り入れて音価や音の高さを確認する活動を取り入れる。 ・常時活動に復習や共通事項を意識させる活動を取り入れる。 ・活動の目的を明確化させるとともに、ペアから3人グループへと段階的に条件を設定し、対話的な学びから自分の学びを広げられるようにする。

3年

■児童の状況	○主体的に学習に取り組もうとする児童が多い。 ●既習事項を活用し、学びを探究していく場面では、何をしてもよいか分からず集中できない児童がいる。 ●一部の児童は、個人の活動に終始してしまう傾向にあり、友達の意見や発表から自分の学びを広げる場面が苦手である。
■指導についての課題	・既習事項である記号を正しい名前と意味でとらえられていない。簡単なリズム譜を読めるようにさせる必要がある。 ・協働的に学ぶ場面での、共通事項や音楽の言葉の獲得、活動の進め方に課題がある。
■授業改善に向けての具体的な方策	・常時活動では既習事項の復習ができる活動を取り入れ主活動につなげていく。音価と記号を結びつける学習活動を重点的に取り上げる。 ・活動の目的を明確化させるとともに、ペア学習をトリオ学習へ発展させ、対話的な学びから自分の学びを広げられるようにする。内容を段階的に発展させながら、取り組ませる。

4 年	
◇児童の状況	○主体的に学習に取り組もうとする児童が多い。 ●既習事項を活用して思考、判断、表現する場面では、困ってしまったり、活動がとまってしまったりする児童がいる。 ●試行錯誤しながら表現の工夫を考えるなど、聴き取ったことと感じ取ったことを関わらせたりしながら思考、判断、表現する力に乏しい。
■指導についての課題	・基礎的基本的な共通事項を正しくとらえさせ、既習事項を活用し課題解決する力を付けさせる ・思考力・判断力を求める場面での課題が多い。既習事項を活用しながら、互いに意見を出し合い、協働的に学びを進めていく力を身に付けさせる。
■授業改善に向けての具体的な方策	・常時活動に復習や共通事項を意識させる活動を取り入れる。 ・共通事項のカードや、思考ツールを使って学びを整理して提示する。常に共通事項を意識できるようにさせ、それが具体的にどうであったのかを表す言語活動を取り入れる。 ・ペア学習をトリオ学習へ発展させ、題材の中で協働的に学びを進めていく活動を意図的に組む。内容を段階的に発展させながら、取り組ませる。

5 年	
■児童の状況	○主体的に友達との関わりながら学習する児童が多い。 ●既習事項を活用して思考、判断、表現する場面では、困ってしまったり、活動がとまってしまったりする児童がいる。 ●技能の習得には目的意識をもてる児童が多いが、思考したり判断したりする場面など試行錯誤しながら表現の工夫を考えたり、聴き取ったことと感じ取ったことを関わらせながら総合的に判断する力に乏しい。
■指導についての課題	・基礎的基本的な共通事項を正しくとらえさせ、学習内容と結びつけながら課題解決する力を身に付けさせる。 ・思考力・判断力を求める場面での課題が多い。既習事項を活用しながら、互いに意見を出し合い、協働的に学びを進めていく力を身に付けさせる。
■授業改善に向けての具体的な方策	・常時活動に復習や共通事項を意識させる活動を取り入れる。 ・共通事項のカードや、思考ツールを使って学びを整理して提示する。常に共通事項を意識できるようにさせ、それが具体的にどうであったのかを表す言語活動を取り入れる。 ・ペアから段階的に人数が広がるグループ学習の設定をし、題材の中で協働的に学びを進めていく活動を意図的に組む。内容も段階的に発展させながら、取り組ませる。

6 年	
■児童の状況	○主体的に学習に取り組もうとする児童が多い。 ●協働的に学ぶ場面では、互いに意見を出し合うことができるようになっているが、そこからさらによりよいものを目指し、学びを進めていく力に乏しい。 ●技能の習得には目的意識をもてる児童が多いが、思考したり判断したりする場面など試行錯誤しながら表現の工夫を考えたり、聴き取ったことと感じ取ったことを関わらせながら総合的に判断する力に乏しい。
■指導についての課題	・基礎的基本的な共通事項を正しくとらえさせ、学習内容と結びつけながら課題解決する力を身に付けさせる。 ・思考力・判断力を求める場面での課題が多い。既習事項を活用しながら、互いに意見を出し合い、協働的に学びを進めていく力を身に付けさせる
■授業改善に向けての具体的な方策	・常時活動に復習や共通事項を意識させる活動を取り入れる。 ・本時の学習内容に必要な共通事項をしぼって児童に提示する。カードや掲示物を使いいつでも確認できるような環境をつくる。また、それらの関わりが具体的にどうであったのかを表す言語活動を取り入れる。 ・ペアから段階的に人数が広がるグループ学習の設定をし、題材の中で協働的に学びを進めていく活動を意図的に組む。内容も段階的に発展させながら、取り組ませる。

